

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 Presents
ルワンダブルコンサート 2010

AFRICAN RWANDAN MUSIC and DANCE PERFORMANCE

アフリカ・ルワンダ音楽と
ダンスパフォーマンス

世界を舞台に活躍中のアフリカ・ルワンダ出身ミュージシャン ジャン・ポール・サンプトゥとダンスチームが来日。

情熱的なパフォーマンスを繰り広げます。

出演 サンプトゥ インゲリ
Samputu & INGELI

2010年

7月16日(金) 開演 6:30pm (6:00pm 開場)

須賀川市文化センター

主催 NPO 法人 ルワンダの教育を考える会

入場料

一般 2,000円 当日2,500円

大学生・高校生 1,000円

中学生以下 無料 (整理券が必要です。)

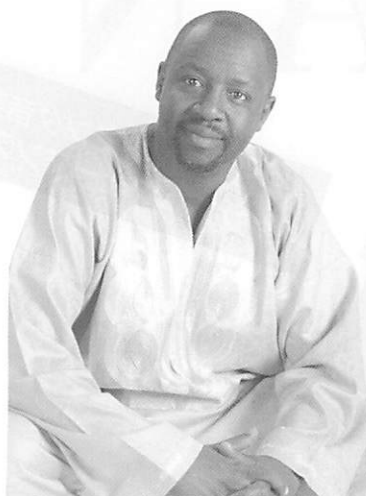
ご予約・お問合せ

ルワンダの教育を考える会
090-4888-4947 (五十嵐)

1994年のルワンダ内戦により家族を虐殺されたにもかかわらず、自分を悲惨な状況に追い込んだものすべてをゆるして前向きに生きていくことを決意し、音楽による平和活動を世界的に展開しているアフリカの著名なミュージシャン ジャン・ポール・サンプトゥ。彼がダンスチーム インゲリ とともに来日し、アフリカ音楽とダンスを繰り広げます。

ジャン・ポール・サンプトゥ

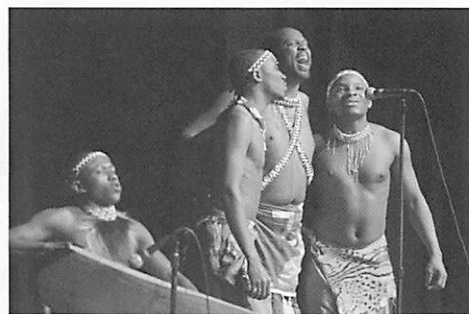
Jean Paul Samputu ミュージシャン



1962年3月15日生まれ。カナダ在住のルワンダ出身。アフリカ伝統音楽や欧米のニューミュージックの影響を受け、独自の音楽を作り出して評価され、ニューヨークリンカーンセンターなど様々なステージで活躍してきた。94年のルワンダ内戦で両親と兄弟を自分の幼なじみに虐殺され、その悲惨な体験から生きる気力を失い音楽活動を停止する。しかし、苦しみに打ちひしがれるばかりの現状を変えようと決意し、その幼なじみをゆるすことで、絶望的な状況から回復し、音楽界に復帰を果たした。

復帰後、03年には、コウラ賞（アフリカのグラミー賞）を受賞、04年には、米国で行われた「ルワンダ内戦終戦10年式典」に招待され公演を行い、現在は世界中で演奏活動を行っている。また、その一方、内戦で傷ついた子どもたちに音楽を通して夢を与える活動（MIZERO Children）も行っている。

インゲリ INGELI ダンスチーム



伝統舞踊「イントーレ」

ドラム・オーケストラの伴奏で踊る、「選ばれし者たち」という意味の、勇敢な戦士の踊り。獅子のたてがみをなびかせ、槍と盾を持って勇壮に踊る姿は圧巻。数世紀前から続くこの踊りは、元々宮中で演じられていましたが、現在はセレモニーや祭り、国立博物館で鑑賞することができます。

カンベンガ・マリールイズ

Kambenga Marie Louise メインコーディネーター



1965年、ルワンダ生まれ。福島市在住。

93年、福島県海外技術研修生として福島文化学園で洋裁を学ぶが、帰国後、ルワンダで内戦が勃発し、戦火を逃れて難民キャンプにたどり着く。そこで出会ったAMDA（アジア医師連絡協議会）の日本人医師の通訳となったことなどがきっかけとなり、94年に研修生時代の友人らの尽力により家族で再来日する。

内戦の体験から、教育の大切さを感じ、また内戦で傷ついた子どもたちに夢を取り戻してほしいという願いから、00年ルワンダに学校を建設することを目的として、福島に事務局を置くNPO法人「ルワンダの教育を考える会」を仲間と立ち上げる。

現在は、内戦の体験を通して知った命の尊さ、教育の大切さを訴える講演を日本各地で精力的に行っている。

後援団体

駐日ルワンダ共和国大使館

JICA二本松、須賀川市教育委員会、財団法人福島県国際交流協会、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、福島民友新聞社(株)、(株)福島民報社、NHK福島放送局、福島テレビ(株)、(株)福島放送、(株)福島中央テレビ、(株)テレビユー福島、(株)ラジオ福島、ふくしまFM

